

恵庭創生懇談会資料

(1) 平成30年度地方創生推進交付金事業実施状況について

○平成30年度予算地方創生推進交付金充当予定事業の概要

一億総活躍社会の実現に向けて、ローカルアベノミクスの推進を通じた地域の付加価値創造力強化のため、緊急に実施すべき対策として、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた先駆性のある取り組みの円滑な実施のため「地方創生推進交付金」が平成28年度に創設されたことから、恵庭市においても恵庭市総合戦略に基づき、人口減少や少子高齢化が進む社会情勢においても高い持続性を確保できるよう下記のとおり事業を実施します。

◆田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト～恵まれた庭のコンパクトなまちづくりへの挑戦

事業名	事業費	説明(主な内容)
花の拠点整備事業	10,000	センターハウス改修設計
花観光推進事業	13,500	コミュニティガーデン作成、シンポジウム、オープンガーデンバスツアー花のガイドブック等作成
移住促進事業	5,270	ウェブサイト、就職・不動産情報、移住フェア・相談会、PR、移住後のフォローアップ、オーダーメイドツアー
えにわシティセールス事業	2,208	シティセールスプラン策定、広告宣伝
サイクルネットツアー事業	2,500	サイクルネットツアー開催事業
小計	33,478	

◆広域ネットワークによる農商工連携推進プロジェクト(藤枝市との連携)

事業名	事業費	説明(主な内容)
広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト事業	15,889	産業PRイベント、マッチング交流会、藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワーク負担金、新商品開発補助金等
小計	15,889	

◆「さっぽろ圏」若者定着広域連携推進事業(北海道、近隣市町との連携事業)

事業名	事業費	説明(主な内容)
就職促進事業	4,000	合同企業説明会、女性向け就職応援セミナー、企業担当者向けセミナー
起業家支援事業	834	起業支援・事業承継支援相談、起業塾
小計	4,834	

◆修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業(官民協働、政策間連携事業)

事業名	事業費	説明(主な内容)
対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業	17,700	教育旅行等受入促進事業、観光webサイト、ツアー商品web販売
小計	17,700	

地方創生推進交付金事業費合計

71,901

田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト

えにわシティセールス事業[えにわシティセールスプラン策定、シティセールス短期的施策の実施等]

【概要】まちの魅力や資源を市内外へ戦略的にアピールし、まちのイメージを向上させることで、知名度の向上や、交流人口、移住・定住人口の増加を図る

進捗状況(4月～9月末)

○恵庭市シティセールス検討委員会の開催(7月3日、9月5日実施) 恵庭市の魅力や資源を市内外へ戦略的にアピールするにあたり、市民、大学、広告・旅行関連の方を参集し、意見を集約して恵庭市の知名度の向上を目指している。

ターゲットを検討し、短期的施策として効果的に恵庭市のPRする方法について議論を行った。



今後の予定(10月～3月末)

○今後定期的に検討委員会を開催し、短期的施策として恵庭市をPRする方法を決定して実行する。中長期的な視点で恵庭市のシティセールスをどのように進めていくかをシティセールス検討委員会で協議し、プラン作成。



ガーデンシティライフ えにわで暮らそう！



※イメージ図

【事業担当者の意見】今年度からスタートした事業であり、様々な分野から専門的な知識を持った委員とともに協議を重ねていくことから、話し合いのテーマを絞り込み、事業を進めて成果へ結びつけたい。今後の方向性を決める大切な事業であることから慎重に協議を重ねていく。

田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト

花観光推進事業 [コミュニティガーデン造成・オープンガーデンバスツアー・花のガイドブック等作成]

【概要】観光資源として花を最大限活用し、行政・企業・市民が協働し、花のまちえにわの知名度をさらに高めるため、市民に対し様々なイベントの実施、情報発信を実施する。

●市民向けオープンガーデン等ツアーの実施

●花のガイドブック等作成

●市民協働によるコミュニティガーデンの造成

進捗状況(4月～9月末)

○めぐみの庭めぐり【7月13日(金)～7月14日(土)】

花が一番美しい時期を狙い、JR恵み野駅から30分毎に無料循環バスを、60分毎にJR恵庭駅東口とJR恵み野駅東口を結ぶシャトルバスを運行。昨年と同様、11箇所のバス停と4箇所のインフォメーションを設置。

自由にバスを乗り降りしながらオープンガーデンや街並みを散策し、「花のまちえにわ」に触れていただいた。2日間で800名が参加。



今後の予定(10月～3月末)

○紅葉めぐりバスツアーの実施

10月10日から13日まで4日間実施。花の終わる10月も、観光資源である紅葉を花に見立て、景勝地である恵庭溪谷を堪能していただく。

○コミュニティガーデンの造成

恵庭市立図書館に造成するコミュニティガーデンについて、9月12日に施工業者が決定し、造成に着手、10月末の完了を予定。

○花のガイドブック等作成 沢山の人に「花のまちえにわ」の魅力を認識してもらうため、花のまちづくりの歴史、市内の花の見どころ、将来像等を掲載した花のガイドブックを作成し、広く情報発信を行う。7月13日に制作会社と契約、現在編集作業中。3月20日に納品予定。

【事業担当者の意見】 昨年市民を対象とした「めぐみの庭めぐり」について、今年は札幌圏居住者等を対象とし、園芸雑誌及び新聞広告を展開し、道内からたくさんの見学者が訪れた。アンケートの結果満足度も高いことから、改善点、反省点を踏まえ、次年度はよりたくさんの人に花のまちえにわを満喫していただけるようなイベントに仕上げたい。

【田園と都市の融合・ガーデンデザインプロジェクト】

移住促進事業[移住相談会・移住フェアへの参加、移住者交流会の開催等]

【概要】恵庭市の知名度向上、魅力をPRし、恵庭に行ってみたい・住んでみたいと思う人の増加を目的に、ウェブサイトでの情報提供、移住イベントへの参加、移住者へのフォローアップイベントを実施

- 就業斡旋業者への委託により若年層移住者への具体的な仕事情報提供や転職支援を実施
- 道外居住者向け移住相談会(東京・大阪・名古屋)を通じ、恵庭の魅力をPR、個別相談を実施

進捗状況(4月～9月末)

○北海道本気の移住相談会(東京)への参加【6月24日(日)】
→恵庭ブースを出展し、関東圏移住検討者にPRを行った。ブースには42組に来ていただいた。その後、実際に来恵し具体的に検討している方もいた。

○千歳市×恵庭市 合同移住相談会の実施(東京)【8月31日(金)～9月1日(土)】
→隣接地の千歳市と合同で移住相談会を行った。18組の来場があり、本気の移住相談会の来場者が更に深い相談をするために訪れた方も複数いた。

○移住者交流会の開催
恵庭に移住して、環境に慣れていない方、知り合いが少ない方の新たなコミュニティ形成の手助けとして、近年移住した方向けのイベントを開催。

今後の予定(10月～3月末)

- 北海道暮らしフェアへの参加(大阪・名古屋)【10月6日(土)・7日(日)】
- さっぽろ圏移住フェアへの参加(東京)【1月下旬】
- ウェブサイトにて情報発信【随時】
- 移住希望者を対象とした個別相談の実施【随時】
- 市内案内オーダーメイドツアーの実施【随時】



【事業担当者の意見】相談会では「北海道への移住」から「千歳・恵庭圏への移住」に目的を絞っている相談者が多くなっている傾向が見られた。仕事の斡旋や、不動産の情報提供や北海道の住居の性能など、市職員だけでは十分に提供できない情報やサービスを協力事業者にてカバーしているため、移住で最も重視される仕事と住居の不安を解消し、移住の後押しをすることができた。

「さっぽろ圏」若者定着広域連携推進事業 起業家支援事業[起業個別相談会、起業塾の開催]

【概要】起業を目指す恵庭市民に対し、個別相談や起業に関するセミナーを通して事業イメージをより具体化させ、円滑な起業を促進する。

- 月に一回の中小企業診断士による起業個別相談会の開催
- 恵庭リサーチ・ビジネスパークへの委託事業として「恵庭起業塾」の開催

進捗状況(4月～9月末)

○実践的なセミナーを通じて事業の具体的なイメージを構築するための「恵庭起業塾」を開催する
全5回日程(9月までに3回実施) 申込人数48名
→経営・財務・人材育成・販路開拓、ビジネスプランや創業計画の作成に役立つ知識が身に付く講義の実施。

○毎月開催の起業個別相談会

4月18日、5月23日、6月20日

7月18日、8月22日、9月19日

→中小企業診断士による、具体的な創業にかかわる悩みや不安の解消を目的として開催。9月までに17人の参加により実施した、

起業塾ポスター



今後の予定(10月～3月末)

○起業塾の実施(残り2回)

○毎月の起業個別相談会の開催

次回は10月26日を予定

その後は、中小企業診断士と調整し、毎月1回の開催を予定。

講義風景



個別相談風景



【事業担当者の意見】起業塾の参加人数は昨年よりも増加しており起業に関心を持っている市民は増えている。起業個別相談会も毎月、一定の参加希望があることから、起業塾だけではフォローできない悩みの解消の場としてのニーズがあると考えられる。今後も市内での起業を促進するため、引き続き個別相談会を実施し、きめ細やかなフォローアップを行っていききたい。

1. 「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業

就職促進事業〔高校生向けセミナー、企業採用担当者向けセミナー、合同企業就職説明会、女性向けセミナー〕

【概要】市内企業の求人業務の効率化と求職者に幅広い職種選択の機会を提供するとともに、地元学生の就職促進並びに、潜在的な労働力の発掘を目的に、その実現に必要な各種事業を一体で行った。

進捗状況(4月～9月末)

○高校生向け就職支援セミナー【H30.7.25(水)～H30.7.26(木)10:00～16:00】 受講者46名
⇒社会人としての基礎知識やマナーに加え、地元企業からのアドバイスをセミナーを通して習得。
○企業採用担当者向けセミナー【H30.9.27(木)】
参加企業16社、受講者23名
⇒企業採用担当者を対象に企業の人材確保につなげるため、企業説明会の参加のポイントや企業の採用力や発信力をアップさせるセミナーを行った。
○合同企業就職説明会【H30.10.6(土)10時～14時】 ⇒市内企業の労働力確保の効率化、求職者の就職決定のため実施。36社、50名参加
○女性向けセミナー【H30.10.6(土)12時～12時30分】⇒出産・育児等で離職しブランクがあるがまた働きたいと考えている女性を対象に合同企業就職説明会と併せてセミナーを実施。4名参加。

今後の予定(10月～3月末)

○12月より就職状況について調査開始



【事業担当者の意見】有効求人倍率が1を超える状況が続いており、昨年度に比べ合同企業就職説明会の参加者が減少している。反面、参加企業は増加傾向であり、市内企業の人材不足の様相が如実に現れている。10月以降は合同企業就職説明会参加者を中心に企業と求職者のマッチングが円滑になり、より多くの求職者が市内企業へ就職するよう、フォローアップを行っていく。

対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業

教育旅行等受入促進事業

【概要】訪日教育旅行者数が最も多い台湾をターゲットに、青少年のうちから恵庭市の地域資源・観光資源の魅力を知ってもらい、将来の訪日リピーター獲得、対内投資の拡大を目的に事業を推進。

●恵庭らしさを活かした訪日教育旅行・修学旅行等のツアー造成、造成したツアーの広告・宣伝、ツアー等の受入調整・マッチング、ツアーに地産品等を組み合わせた地域ブランドの創出及び販売機能の確立

進捗状況(4月～9月末)

○ツアー造成に関する取組

- ・台湾の教育旅行会社2社を招聘。市内観光関連施設(14施設)を視察し、意見交換を実施。
- ・モニターツアーを実施し、台湾人9名が参加。

○広告・宣伝に関する取組

- ・現地メディアを招聘し、市内観光関連施設を取材。サイト内にて掲載された。
- ・多言語観光WEBサイト、SNSでの定期的な情報発信。
- ・台中市において、現地旅行会社(教育系・一般系)を対象とした商談会を実施し、36社50名が参加。
- ・在日台湾華僑を招聘し、市内観光施設の視察や市内事業者との商談会を実施。

○ツアー受入調整・マッチング

- ・これまでに2件の教育旅行受入があり、学校交流やホームステイの受入が実現。



現地商談会風景

今後の予定(10月～3月末)

- 台湾人観光客受入マニュアルの改訂【～11月上旬】
- 台湾人観光客受入セミナーの開催【11月中旬～12月中旬】
- 地域ブランドの創出及び販売機能の確立(花をイメージした新商品・体験観光商材の開発検討)【～年度末】
- ツアー商品WEB販売(個人旅行商材開発及び販売支援)委託業務【～2月末】
- 観光WEBサイト特設サイト構築(掲載コンテンツの充実化)委託業務【～2月末】
- 観光パンフレット製作委託業務【～2月末】



受入マニュアル



多言語観光WEBサイト
「ENIWA EYE」

【事業担当者の意見】商談会の実施や情報発信など、リピーター獲得に向けた取り組みを積極的に実施するとともに、市内の教育機関や事業者・団体と連携し、受入体制の強化にも取り組んでいる。

今後は、対内投資拡大策として、花をイメージとした商品・体験商材の開発を行うとともに、WEB販売の検討など販路の開拓についても取り組んでいきたい。

広域ネットワークによる農商工連携推進プロジェクト（藤枝市との連携）

〔産業祭・マッチング商談会の開催、ネットショップ、商品開発補助金、農商工連携の推進〕

【概要】両市の異なる特徴をもつ地域間の交流促進を図り、両市の事業者が連携し、それぞれの農産物や技術を活用した新商品開発や新サービス開発に取り組み、産業振興や販路開拓、消費拡大を目指す。

●えにわん産業祭・マッチング商談会の開催 ●藤枝市との共同ネットショップの運営

●商品開発補助金による連携商品開発の推進

進捗状況（4月～9月末）

○藤枝市マッチング商談会参加

7月23日開催 恵庭市10社、藤枝市10社参加。

○ネットショップの運営

藤枝市・恵庭市共同のネットショップ「藤の恵」を運営し、両市の連携商品や恵庭の特産品販売を行った。

○恵庭市農商工等連携推進ネットワークの運営

交流会の開催、ウェブサイトやメールニュースによる情報発信等を行った。



マッチング商談会



今後の予定（10月～3月末）

○えにわん産業祭・マッチング商談会の開催

9月9日に開催予定であったが地震の影響で11月4日に延期開催。藤枝市9社・恵庭市9社によるマッチング商談会を行い商品開発につなげる。

○ふじえだ産業祭出展

10月27.28日に藤枝市で開催。恵庭市から4社が参加し、特産品販売、PRを行う。

○イベント出展によるPR

藤枝市と共同で12月14-16日に東京巣鴨商店街でネットショップのPR、特産品販売を行う他、展示商談会に出展し、恵庭市農商工連携商品のPRを行う。

【事業担当者の意見】マッチング商談会では、参加事業者間の連携が深まり、複数の参加飲食店で藤枝連携メニューが提供された他、商品開発補助金を活用した連携商品の開発も既に進められている。今後予定している、産業祭・マッチング商談会により、更なる連携商品の開発を進め、イベントでのネットショップのPRを行い連携商品の販売を推進したい。